令和7年度地域未来交付金に関する効果検証結果（R8.6.29議会による検証）

No.	交付金種別	対象事業名	交付金を活用して実施した詳細事業	事業の効果に対するコメント	事業見直しの必要性	実績に対するコメント	数値目標に対するコメント	今後の事業実施について
1	地域未来交付金	Divercity×Artで持続可能なまちづくり	■小中学校における生き物観察会・SDGs学習事業 事業費：7,000千円 概要：小中学校を対象にSDGs教育の充実を進めるとともに、震災後私塾が1カ所のみとなってしまったことに伴い、大学生の支援を得ながら自習室を開設し、子どもの学ぶ意欲の持続性やSDGs学習の深化を図る。SDGs学習や生き物観察会の根底は、子どもが自ら学ぶ意欲であり、それを持続的なものにするために必要である。生き物観察会については蓄積したデータを活用し、身近にある生物多様性を肌で感じ、考える機会であり、この二つを軸に小中学生の時期に本市の多様性に関する理解を深める。 実施主体：珠洲市 支出方法：負担	特段なし	特段なし	特段なし	特段なし	R8年度から本格実施のSDGsラボにおける「のとの自習室」について、大変良い取り組みであると考える。広く周知を。（1名）
2			■移住相談窓口運営事業 事業費：3,000千円 概要：Uターン者数の増加に向け、地域の事業所や働き方に関する魅力発信を強化するとともに、芸術祭をきっかけとした交流人口・関係人口をU・Iターンにつなげるため、住まいや仕事等の相談に対し、ワンストップで対応するための移住相談窓口を運営。 実施主体：すず里山里海移住フロント 支出方法：負担					
3			■震災後における芸術祭関連事業の交流・関係人口の拡大事業 事業費：4,800千円 概要：震災を耐え抜いた常設Art作品（震災前24作品、震災後13作品）の活用によるツアー造成やイベント開催、芸術祭関連グッズの販売を行い、震災後においても今見ることができる、今感じることができる珠洲ならではのArt作品等の魅力発信により、珠洲ファン（関係人口）を創出する。 実施主体：珠洲市 支出方法：委託					
4			■大学連携による創造的復興に向けた次世代リーダー育成事業 事業費：20,000千円 概要：これまでの17年間の英知を基盤とした大学連携による人材育成事業を当市の創造的復興にフォーカスし、当市ならではの特色ある未来社会モデルの構築にチャレンジする次世代リーダーを育成する 実施主体：珠洲市 支出方法：委託					